

細川としゆき

市政報告 Vol.5



市議会議員 1 期目
議会 議会運営委員会委員
政策検討会議委員（若者の投票率向上）
教育厚生常任委員会委員
交通対策特別委員会委員長
会派 新和会 幹事

令和 4 年 1 月 発行

大津市交通安全条例の制定 (12/29)

大津市庁舎整備基本構想策定懇話会の設置 (12/20)

■ 11 月 通常 会議

一般会計の補正予算、特別会計の補正予算、条例制定・改廃等 27 件の議案及び追加議案
会期は11月24日から12月22日の29日間
一般会計補正予算の主な内容一般会計補正額は、**約12億7506万円**
主な事業内容は

1. 新型コロナウイルス感染症対策の追加補正

- 学校や市民センター等の避難所への災害時用備蓄品の整備（移動式蓄電池・エアベッド等購入） **約6757万円（国費）**
- 市独自ひとり親家庭への臨時給付金 **約6920万円（国費）**
給付金額は児童扶養手当受給世帯（ひとり親世帯）を対象
児童1人あたり2万円給付を令和4年2月に支給予定
- 新型コロナウイルスワクチン3回目接種推進事業の追加補正等 **3億4000万円（国費）**
- 市独自中小企業等への事業継続応援給付金 **約4億800万円（国・市費）**
補助金額は中小企業者等20万円 個人事業主10万円
- 小学校ICT環境整備経費 **約1785万円（国・市費）**
小学校低学年（1～3年）用タブレット等リース **約1421万円**
- 市民センタートイレ洋式化改修経費 **約1697万円（国・市費）**

2. 追加の債務負担行為

- 新型コロナウイルスワクチン接種に係る事務支援業務
令和4年に**約2億3136万円（国費）**

3. 給食特別会計

- 地元特産物を使った学校給食の献立提供経費 **6507万円（市費）**
今年は近江牛のすき焼き風の献立
以前は、叶匠寿庵のどら焼き、井筒八つ橋の走り井餅、菓子工房らのピワサクレ

4. 追加議案

- 10万円一括 子育て世帯への臨時特別給付 **53億7000万円（国費）**

3 回目の新型コロナワクチン接種へ **！ 重 要**

11月12日現在の大津市の状況は、2回の新型コロナウイルスワクチンの接種を終えた人の状況は、12歳以上の31万人の対象者の中で、接種率は81.3%65歳以上で97000人が対象となっている高齢者についても89.6%

新型コロナワクチンの3回目接種について

■ 前倒しの対象者

- ・6ヶ月以上の前倒し対象者は
医療従事者・高齢者施設等の入所者及び従事者、病院及び有床診療所の入院患者
- ・それ以外の高齢者（65歳以上）

■ 接種券の発送について

- ・1月19日に令和3年6月中に初回接種を終えられた高齢者等の接種券約15000通の発送を皮切りに、以降段階的に分散し発送することとしました。

■ 会場毎の使用ワクチン

- ・個別接種 原則ファイザー社製ワクチン
- ・市の集団接種会場 当面の間は武田/モデルナ社製ワクチン

■ 集団接種の再開

- ・令和4年1月28日より再開/1月20日（木）9時～予約受付
- ・大津市ふれあいプラザ（1月28日～）
瀬田公園体育館（2月20日～）

■ 予約方法（電話・対面・Web）

- ・コールセンターへの電話予約
令和4年1月11日より20回線増強し/最大45回線に対応
0570-002-092 9時から17時
- ・対面型の予約支援窓口
1月11日～3月31日まで（平日10時～12時/13時～16時）
明日都浜大津2階及び6支所
（木戸・仰木の里・坂本・平野・田上・瀬田）



細川としゆきの11月議会一般質問内容

質 問 「こども110番のおうち」の安全コーンの適切な更新に向けた予算の確保について

回 答 子どもの「安心・安全を守るための取組み」のひとつである「こども110番のおうち」制度は、「緊急避難先」として全国に広がり始めた。平成9年より、本市独自に「安全コーン」を設置するなど、子どもにわかり易く表示することで、危険を感じた際に「駆け込める場所」として、市民に広く、根付いているものと認識している。安全コーンの適切な更新に向けた予算の確保については、各警察署に事務局がある「子ども安全リーダー連絡協議会」に「安全コーン」の設置及び管理を担って頂いており、設置状況の報告をもとに購入数を検討し、予算化してきたが、破損したものだけでなく、黒ずんでいる「安全コーン」などがある現状を踏まえ、引き続き、「子ども安全リーダー連絡協議会」と連携して、適切な設置・管理がなされるように努める。

意 見 結果として予算の増額が図れる見込みですが、破損や黒ずんでいるコーンの正確な数の把握と設置場所が適切であるのかどうかの確認も行う必要があります。その際に素材や耐久性についても検討し、新しく新調した安全コーンを設置したいものです。

質 問 小中学校の子どもたちの健康の増進のために必要なフッ化物洗口の取り組みを早急に実施することについて

回 答 フッ化物洗口が初期むし歯の再石灰化やむし歯の進行抑制において、一定の効果があると認識しており、関係部局や歯科医師会等の関係機関とも連携を図り、実施に向けた具体的な検討を行う。

また、幼稚園や保育園においても、フッ化物洗口はむし歯予防の効果は、4歳から開始し、14歳までの期間、継続的に実施することで最も大きくなることから、小学校との連続性を考慮し、関係部局や歯科医師会等の関係機関とも協力して検討する。さらに、健康保険部としては、体系的に子どもの虫歯予防、フッ化物洗口に取り組むことは重要であると認識しており、歯科保健を推進する立場で、関係部局と連携し、フッ化物洗口の実施方策を検討する。

意 見 健康保険部が中心となり体系的に取り組みを進めていく方向で確認ができるように思います。ただし、実施に向けては、1つは幼稚園や保育園、学校の先生方への負担が極力少なくなるよう工夫すること。2つ目は家庭への啓発を充実することが大切です。このことは、歯科医療費の大幅な削減につながると言われており、オール大津で取り組む必要があると考えます。

質 問 次年度以降の「学校夢づくりプロジェクト」に向けた事業展開について

回 答 取組を終えた学校では、「日ごろあまり関わりのなかった地域の人と交流し、地域の魅力について考えることができてよかった」「上手にプログラミングができるようになって、将来の仕事にいかしたい」といった感想が子どもたちから聞かれるなど、成果の一端も伺えます。改めて地域の魅力を実感できたり、将来の展望を持ったりするなど、子どもの変容が見られる。今後は、特色ある学校づくりを一層推進することや、子どもたちへのキャリア教育の視点を大切にすることなど、ねらいに照らした計画立案を学校に求めたいと考えている。それぞれの学校が目指す子どもの姿を実現するために、学校が主体的に予算計画を立てることができるよう、各校での今年度の取組状況を踏まえ、今後も予算の確保に努める。

意 見 成果が多く見られる状況は嬉しいこと。この事業により、学校が変わらなければならないと思います。自分たちの学校は自分たちで工夫して良くしていけるといふ、教師や生徒の意識改革が大事です。そのことにより、いじめ対策もさることながら、夢づくりを大津の教育の柱に据えて、大津の教育を変える起爆剤になることを願っています。いじめ対策、学校夢づくり、人権尊重の教育を大津の教育の3本柱にしてほしいと思っています。



質 問 中学校ブロック内での教育課題を意識した各コミュニティ・スクールの交流と研修の取り組みについて

回 答 中学校ブロック内の教育課題を意識した取り組みの充実については、他校の取組状況や課題などを共有し意見交換すること、コミュニティ・スクールの質の向上には大切なことであることから、研修や情報交換の在り方について検討する。

意 見 コミュニティ・スクールの主体性を尊重し、学校規模適正化等の教育課題についても、教育委員会として問題提起し議論を委ねることも必要だと考えます。

質 問 学校給食において牛乳の食べ残しの現状と牛乳以外の食材でカロリーやカルシウム摂取を工夫することについて

回 答 牛乳の飲み残しの量は、令和3年度の4月から10月までの1日あたりの平均本数は約1,235本で、牛乳提供数の約4.6%となっている。学校給食における牛乳の提供は、文部科学省が定める学校給食実施基準を満たすための貴重な栄養源となっている。教育委員会においても、牛乳に代えて他の食品から同量の栄養素を摂取することなどについて検討したが、学校給食の1回では、食べきれない分量になったり、毎日同じ特定の食品を使用したおかしになったりするなど、更なる残食につながる懸念され、成長期の児童生徒にとって重要な栄養素であるカロリー・カルシウム・たんぱく質などをバランス良く効率的にとることができる牛乳を提供することが望ましいとの考えに至っている。また、全国的には、給食の提供方法や状況は市町村によって大きく違う場合もあることから一概には申しませんが、ほぼ全ての市町村で学校給食に牛乳が提供されている状況であると認識している。

意 見 私自身は、財政的な負担が大きいことや中学生という育ち盛りの時期に個々にあった食材や量があること、弁当づくりを通して親子の願いと感謝のつながりが生まれていたこと、教職員の負担が大きい等の側面から、給食より弁当が良いと考えていましたが、子どもからは食事が温かいなど評判が高く、中学校給食に諸手を挙げて賛成するとはいえませんが、開始されて良かったと思わざるを得ない結果となっています。しかし、牛乳等の食べ残しは大きな問題となっており、栄養とカロリーをしっかりと採らせるための工夫に努める必要があります。むずかしいことですが、美味しいこと、作っている人の思いを想像することが大事では。弁当の食べ残しはないと言っても過言ではありませんからね。



質 問 仰木小・日吉台小など小規模な学校における学校教育と社会教育との連携強化に向けたモデル地域の指定について

回 答 このことについては、不特定の方が利用される施設と複合化する場合、安全確保をはじめ、様々な課題がある。このことから、まずは児童クラブの使用を優先的に考えているが、今後は、学校教育と関係性が深い地域活動など、教育活動に資する学校施設の利活用について研究していく。

意 見 いつも気になるのが、不特定の方が利用されるとの表現です。地域で社会教育を推進している人の多くは、名前も住所も連絡先も明らかにされている人ばかりで、子どもたちにとっては、地域で顔見知りと言うことが多いように思います。コミュニティ・スクールの意味合いからも前に進めて行かねばならないと思います。



細川としゆきオフィシャルウェブサイトです。
日頃の活動報告やお知らせなど配信しております。
是非ご覧ください。
<https://hosokawa-toshiyuki.com/>

